

恵那市産業振興ビジョンに基づき 今後、検討すべき方向性

恵那市産業振興ビジョンの体系

ビジョン 「稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成」

基本方針	基本方向	基本施策	狙い	
①地域産業の発展・活性化 ②新たな起業の応援	ものづくり産業の振興	地域資源の活用とブランド化 拡充	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	
		知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	
		市場開拓・販路拡大 拡充	流通を確保する	
	集客・交流産業の振興	集客・交流産業の振興 拡充	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	
		集客できる拠点の整備 拡充	楽しんでもらえる場所をつくる	
	③バランスの取れた企業誘致	産業基盤の強化	魅力発信	市内外に魅力を知ってもらう
			経営支援	時代に対応した持続する経営体制を整える
			経営基盤の強化 拡充	
			新たな担い手発掘と育成 拡充	起業・創業しやすい環境をつくる
	人材の確保・育成	人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	
		市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらう	
		潜在的人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらう	
人材育成		伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する		
③バランスの取れた企業誘致	産業基盤の強化	企業立地の促進 拡充	地域に必要な企業を誘致する	

基本施策を拡充する方向性案(商業・観光分野)

基本施策	拡充する方向性	概要
地域資源の活用とブランド化	新たな事業領域への取り組み推進	新しい生活様式や旅行スタイル等に対応したビジネスモデルへの変革を推進する。
市場開拓・販路拡大	地域内経済循環の促進	先行予約型やポイント制度など地元店舗のファン獲得と市内消費喚起につながる新たな仕組みを構築する。
集客・交流産業の振興	地域内で完結する観光形態の確立	新しい生活様式を契機に、需要に拍車がかかるアウトドアを推進するため、宿泊・体験・食が連携したアウトドア観光資源の磨き上げを図る。施設の改修や運営改善を行い、アウトドア拠点整備を行う。
集客できる拠点の整備	多様な宿泊形式への対応	ウィズ・コロナ、アフターコロナにおける多様な宿泊形式の変化として車中泊に着目し、市内スポットの調査や導入に向けた研究を進める。WRCを契機に、車を活用した旅行様式への適応を図る。
経営基盤の強化	デジタル化の推進	キャッシュレス、ポイント制度による消費喚起、デジタルマップ、通販サイトなどデジタル手段の活用を推進する。

基本施策を拡充する方向性案(工業分野)

基本施策	拡充する方向性	概要
地域資源の活用とブランド化	新たな事業領域への取り組み推進	新しい生活様式やニーズに合わせ、既存技術を生かした新たな事業領域への取り組み等を推進する。
企業立地の促進	地方へのライフシフトを踏まえた関係人口増加	企業研修の誘致などにより、段階的にサテライトオフィス誘致、さらには本社機能・研究施設誘致へとつなげ、新たな事業展開を促進する。

基本施策を拡充する方向性案(農業分野)

基本施策	拡充する方向性	概要
地域資源の活用とブランド化	遊休農地の活用推進	担い手の農地集積への加速化及び遊休農地・耕作放棄地の再生、利用促進を図る。遊休農地・耕作放棄地を解消し、粟などの振興作物の作付け拡大を図る。
経営基盤の強化	スマート農業の推進	スマート農業技術の現場実装を促進し、農作業を省力化し、栽培技術を均一化する環境を整える。
市場開拓・販路拡大	農産物の流通体制の整備	恵那市産農作物を市内に流通させるための体制の整備をジバスクラム恵那と連携し進める。農産物の販路拡大、地産地消の推進を図る。
新たな担い手発掘と育成	営農組織(担い手)の育成	高齢化や後継者が不在など耕作を継続できない農地の受け皿となる営農組織や法人の育成を推進する。

基本施策を拡充する方向性案(林業分野)

基本施策	拡充する方向性	概要
地域資源の活用とブランド化	地域全体での木材活用推進	木材資源の多岐にわたる活用を促進し、持続可能な森林整備を進めるとともに、木材の地域内循環を促進する。
経営基盤の強化	スマート林業の推進	高性能林業機械の購入またはレンタル及びICT技術等の導入を支援し、少人数での作業効率の向上を図る。
新たな担い手発掘と育成	林業技術者育成事業	森林組合、林業事業者が実施又は参加する林業労働安全対策及び市内の森林整備の促進につながる研修に要する経費を支援するとともに、新規就業者及び5年目の職員に防護服等の購入費用を支援し人材確保の促進を図る。